

ハンセン病

- ハンセン病は、「らい菌」による感染症であり、かつては「らい病」と呼ばれた。
- 感染力は極めて弱く、非常にうつりにくいにもかかわらず、身体の一部が変形したり、人里離れた療養所に強制隔離されたため「感染しやすい病気」と誤った理解が広まり、偏見、差別が助長された。

明治 40 年 「らい予防に関する件」によりハンセン病対策開始
昭和 6 年 「らい予防法」施行。強制隔離開始
平成 8 年 「らい予防法」廃止
平成 13 年 「ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律」施行
入所者等の損失補償、名誉回復などを目的とした各種施策を実施するも
社会に根強く残る偏見、差別の解消に課題が残る。
平成 21 年 「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」施行

療養所数及び入所者数

- ・療養所数 (全 国) 14 施設 (うち長崎県出身者入所施設 : 4 療養所)
- ・入所者数 (全 国) 641 人、平均年齢 89 歳 (R7.5.1 現在)
(うち長崎県出身入所者) 31 人、平均年齢 86 歳 (R7.11.25 現在)
- ・療養所別長崎県出身入所者数

所在地 県名	療養所名	入所者数		
		男	女	計
熊本県	菊池惠楓園	9	18	27
鹿児島県	星塚敬愛園	1	0	1
岡山県	長島愛生園	2	0	2
静岡県	駿河療養所	1	0	1
計		13	18	31